

講義名称	日本経済論	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	SOC123

授業のキーワード	国民所得、物価、日本銀行、外国為替、失業と働き方
授業の概要	この授業では、はじめて経済学を勉強する人を対象としてニュースや新聞で扱われる日本経済の理解を目標とします。経済関連科目を受講する人は必ず履修をする必要があります。
期待される学習成果 (目標)	1. 経済学の考え方をを用いて、日本の経済について理解できる。 2. 入門の経済学に使う基本的な用語の理解と説明ができる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業の概要と、日本経済論とはどのような学問であるのかについて解説をします。
2	国民所得とは (1)	ある国が経済的に豊かであるとは。
3	国民所得とは (2)	国民所得の見方について
4	物価とは (1)	インフレやデフレとは何か。
5	物価とは (2)	物価の変化と経済への影響
6	物価とは (3)	物価の変化と貨幣価値
7	金融システムを理解する (1)	貨幣とは何か。貨幣の役割とは。
8	金融システムを理解する (2)	銀行とは何か。銀行の役割とは。
9	金融システムを理解する (3)	日本銀行とは。日本銀行の役割とは。
10	金融システムを理解する (4)	マネーストック、ベースマネーとは何か。
11	外国為替とは (1)	外国為替とは何か。円・ドルレートの仕組みとは。
12	外国為替とは (2)	外国為替の変化と貿易への影響は。
13	人と組織の経済学 (1)	日本企業の雇用慣行とは。
14	人と組織の経済学 (2)	労働市場の見方、失業率とは何か。
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
授業時間外学習	1-5回：進捗の内容に応じて、参考文献を使い復習する。 6-10回：進捗の内容に応じて、参考文献を使い復習する。 11-15回：進捗の内容に応じて、参考文献を使い復習する。
評価方法	授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点により評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	伊藤元重『経済を見つ3つの目』日経文庫 日経ビジネス『日本経済入門(第2版)』日経BP 原田泰『日本経済論』新世社